

茨城県道路整備促進協議会 第64回通常総会の開催結果について

茨城県道路整備促進協議会(※)は、8月5日(月)に、水戸京成ホテルにおいて通常総会を開催しましたので、その結果を下記のとおりお知らせいたします。

※ 県民の総意に基づき、道路の整備改善を促進し、道路技術の発展を図ることを目的とし、県内44市町村、道路関係16団体及び県で構成する任意団体
〔会長:茨城町長、副会長:土浦市長、那珂市長〕

記

1 趣旨

令和5年度の本協議会の活動について会員に報告するとともに、令和6年度の活動方針について承認を得た上で、今後の国等への要望内容について決議を行うもの。

2 スケジュール

- 日時: 令和6年8月5日(月) 15:30~16:10
- 場所: 水戸京成ホテル2階「瑠璃」
- 出席者数: 108名 ※主な出席者は別記1をご参照ください。
- 内容

ア 挨拶(会長、来賓)

イ 議事(議長:会長)

① 議案審議

令和5年度事業報告・決算報告、令和6年度事業計画案・予算案、令和6年度会費案をご審議いただき、承認を得ました。

② 道路関係団体意見発表

(一社)茨城県トラック協会から国道6号と国道50号の4車線化の早期実現を強く要望する意見発表があり、(一社)茨城県バス協会からは安全面に配慮した道路環境の整備と東関東自動車道の早期開通を要望する意見発表がありました。

③ 決議採択

国等への要望内容を記載した決議書を採択し、会長から国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所長へ手交しました。 ※決議書要旨は別記2をご参照ください。

(別記1) 主な出席者

1 来賓

- ・ 国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所長 佐近裕之
- ・ 県土木部長 林利家

2 市町村長

- ・ 茨城町長、那珂市長、常陸太田市長、常陸大宮市長、東海村長、つくばみらい市長、高萩市長、笠間市長、牛久市長

3 道路関係団体

- ・ 茨城県バス協会会長、茨城県建設業協会会長

(別記2) 決議書要旨

本県経済は引き続き幅広い分野で厳しい状況が続いており、地域経済の回復に向けた人流や物流の活性化を図る必要があること、また近年、激甚化・頻発化する災害に備えるため、圏央道や東関東水戸線をはじめとする災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築が急務であることから、社会経済活動の力強い回復と、災害・危機に強い県土づくりや安全・安心で活力のある地域づくりに向け、道路利用者の意見を十分反映しつつ、次に掲げる事項について計画的かつ着実な推進をお願いしたい。

- 1 改正国土強靱化基本法を踏まえ、継続的・安定的に国土強靱化を推進できるよう国土強靱化実施中期計画を策定し、必要な予算・財源を別枠で確保すること。
- 2 道路施設の老朽化対策に必要な予算を確保するとともに、市町村に対する技術的な支援を充実させること。
- 3 東関東水戸線の早期全線開通及び圏央道の早期4車線化を図ること。
- 4 高速道路の料金徴収期間の延長による財源を活用し、適切な維持管理と機能強化を着実に進めること。
- 5 直轄国道は、事業中区間への集中投資による整備推進を図るとともに、未事業化区間の計画を具体化すること。
- 6 地域の安全・安心や生産性の向上、公共交通の充実や豊かで活力のある地域づくりにつながる道路整備について、迅速かつ計画的に実施するため、必要な予算の確保と重点化を図ること。
- 7 地域の自立と活性化を促し、安心して快適に暮らせる持続可能な地域づくりを支えるため、地方都市を結ぶ道路ネットワークの構築や観光地における交通集中による混雑等への対策を推進すること。
- 8 災害に備えるため、国の現場事務所における人員体制の充実・強化と資機材のさらなる確保を図ること。

<参考・写真>

小林宣夫・会長



佐近裕之・常陸河川国道事務所長



林利家・県土木部長



齋藤隆・県トラック協会専務理事



任田正史・県バス協会会長



総会での議事進行



決議書を佐近所長に手交

